

**製品名: INDOL1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12601**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IDO2
別名	IDO2; INDOL1; Indoleamine 2,3-dioxygenase 2; IDO-2; Indoleamine 2,3-dioxygenase-like protein 1; Indoleamine-pyrrole 2,3-dioxygenase-like protein 1
遺伝子 ID	169355.0
SwissProt ID	Q6ZQW0
免疫原	抗血清はヒト IDO2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

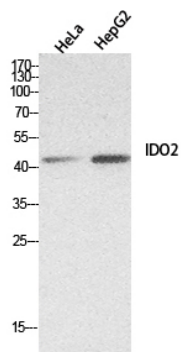
**背景**

INDO (MIM 147435) 遺伝子および TDO2 (MIM 191070) 遺伝子によってコードされる酵素とともに、INDOL1 遺伝子によってコードされる酵素は、キヌレニン経路でトリプトファンを代謝します (Ball et al., 2007 [PubMed 17499941])。[OMIM 提供、2011年2月]、トリプトファン代謝プロセス、トリプトファン分解プロセス、細胞アミノ酸誘導体代謝プロセス、生体アミン代謝プロセス、インドールアルキルアミン代謝プロセス、細胞アミノ酸分解プロセス、芳香族アミノ酸ファミリー代謝プロセス、芳香族アミノ酸ファミリー分解プロセス、アミン分解プロセス、有機酸分解プロセス、芳香族化合物分解プロセス、キヌレニンへのトリプトファン分解プロセス、細胞アミノ酸誘導体分解プロセス、生体アミン分解プロセス、インドールおよび誘導体の代謝プロセス、インドール誘導体の代謝プロセス、インドール誘導体の分解プロセス、インドールアルキルアミンの分解プロセス、カルボン酸の分解プロセス、複素環の分解プロセス、酸化還元、

## 研究分野

トリプトファン代謝

## 画像データ



INDOL1 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。